

## 巻頭言

### 『会報』第12号2報の発刊にあたって

日本医療秘書実務学会 会長 田中伸代

2022年になり、早くも半年が過ぎようとしています。今年は診療報酬の改定もあり、皆様お忙しいことと存じます。今年もまだ COVID-19 の影響からは逃れられないようで、大学等では対面授業となりながらも、感染予防のために工夫をした教室で行っています。学生達もごく自然に、手指消毒・換気・密を避ける・黙食等の行動を行っています。医療機関においては、引き続き対応にご尽力いただいていることと存じます。皆様に感謝申し上げます。

いつまでこの状態が続くかわかりませんが、いずれにせよ、生活習慣や働き方・学び方に大きな変化が起こっているため、以前のように戻らないでしょう。ICTの力を使いムリやムダをなくすこと、他方で一人だけに依存しない組織づくりや、継続性のある仕組みづくりをすることを推進する必要があると思います。

医療機関の中で、他の職種と比較すると、事務系職員への組織内教育のシステムは手薄になっているケースが多いのではないかと推測します。これは以前より続いている状況ですが、早急に解決すべき課題です。本学会でも、各医療機関における教育システムの事例についてご発表いただいておりますが、今後は、さらにマネジメントにも目を向けたシステム構築を試みるべきではないかと考えています。

2022年度、本学会では、全国大会、学会誌の編纂、会報の作成の他にも、複数回の研究会やセミナーの開催を予定しております。学会会員の皆様をはじめ、一般にも広く開放していく予定ですので、ぜひご参加ください。

## 目次

巻頭言.....	1
第13回全国大会のご案内.....	2
2021年度 各種委員会の活動報告とお知らせ.....	3
学会員を募集しています.....	5
事務局からのお知らせ.....	6
編集後記.....	6

## 第 13 回全国大会のご案内

日本医療秘書実務学会の全国大会も第 13 回目となりました。新型コロナウイルス感染症の関係で、オンラインでの開催が続いておりますが、2022 年度も、昨年度同様にオンラインで行います。

現在は VUCA の時代と言われていています。VUCA とは Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実)・Complexity (複雑性)・Ambiguity (曖昧性) が飛躍的に高まった状況を示す言葉です。医療の場においても様々な環境が変わっていく中、どのように対応していけばよいのか、意識の変革と行動の変容が必要とされます。

そこで、2022 年度の大会テーマは「継続と進化」としました。卒前の教育の内容や方法、職場内での教育・研修、現場での現象に対応するだけではなく、組織全体としての対応をどのように行っていくかなどの課題がありますが、それらについて、じっくりとディスカッションをする機会としていきたいと考えます。

本学会では、教育の現場からも、医療の現場からも、多彩な発表と議論ができる場を提供いたします。皆様のご発表・ご参加をお待ちしております。

**日時：2022 年 8 月 28 日（日）【前日に役員会】**

**場所：オンライン（Zoom を予定）**

**特設サイト：<https://sites.google.com/view/jsams2022/>**

**※接続練習等のためのリハーサルを別途設ける予定です。**

## 2021 年度 各種委員会の活動報告とお知らせ

(注：以下の所属は、執筆時の 2021 年度末のもので、2022 年度は変更のある場合があります。)

### 学会賞選考委員会

委員長 内山伊知郎 (同志社大学)

委員 小林利彦 (浜松医科大学医学部附属病院) 西川三恵子 (九州共立大学)

大塚 映 (湘北短期大学) 局 千恵子 (原土井病院)

大場さわこ (サンフラッシュ大場さわこ事務所)

2021 (R3) 年度の学会賞選考は、6 名の体制で実施いたしました。

論集に掲載されたのは、医療秘書実務を科学的にとらえようという力のこもった論文でした。その中から審査の結果、学会賞が 1 本、そして奨励賞が 3 本選ばれました。社会情勢を反映してコロナ禍の影響に関する論文も選出されています。

選考にあたっては、掲載論文を厳格に審査のうえ、非常に優れた論文に論文賞、そして今後の更なる発展が期待される論文に奨励賞を授賞しています。

今後ますます研究が積み上げられ、医療秘書学界の発展に貢献できるように、よろしく願い申し上げます。

### 2021 年度 学会賞

Yonemoto Kuramoto, Yamagami Junichi, Murata Yukinori, Sakata Yusuke,  
Kato Ken

"Impact of Reforming Doctors' Ways of Working in Clinical Settings --  
Doctors' Expectations and Prospects for Increased Patient Satisfaction --"

### 2021 年度 奨励賞

松岡智子・黒木由美・山本智子

「Microsoft365 を使用した多人数遠隔授業の実践報告－受講者アンケート調査から－」

上野節子

「COVID-19 における電話診療・処方導入時の医療秘書の活動」

田中裕子・上野富雄

「大学医局秘書業務の現状－タイムスタディを用いた予備的短期間調査から－」

## 論集編集委員会

委員長 大塚 映（湘北短期大学）

委員 田中伸代（川崎医療福祉大学）

園田美樹（熊本医療センター）

小林利彦（浜松医科大学医学部附属病院） 田村久美（川崎医療福祉大学）

2021年度は、論集第12号の発行に向け、オンラインによる5回の委員会開催の他、メール連絡による幾度にも及ぶ査読結果の検討などの活動を実施しました。

今号の論集は多数のお申込みをいただき、ご投稿の皆様の粘り強い執筆作業のお陰様をもちまして、特別寄稿1編、研究ノート4編、実践報告4編の計9編を掲載することができました。ご投稿の皆様、査読をご担当くださった皆様、誠にありがとうございました。

次年度の全国大会もオンラインでの開催が予定されております。ご発表と共に、ぜひ論集へのご投稿をご検討くださいましたら、幸いです。お待ちしております。

## 企画委員会

委員長 河原秀明（しげい病院）

委員 森 靖之（高松短期大学）

大場さわこ（サンフラッシュ大場さわこ事務所）

直江一彦（中島病院）

中田沙織（岡山市立市民病院）

仁宮 崇（中国短期大学）

委員会では今年度3つのセミナーを企画しております。現場で行かせる研修として、まず7月に接遇をテーマに、ミッションウィル代表の田中恵子さんに、11月に中国短期大学の仁宮崇さんよりメンタルヘルスをテーマに、いずれもZoomを利用してのオンライン研修を予定しています。

また全国大会後に、当学会誌の『医療秘書実務論集』の投稿規程をベースとした、論文を書くためのノウハウ（仮）を9月に予定しています。いずれも近日中にホームページ等で要項を発信し、参加募集を行いますので是非ご参加ください。

## 広報委員会

委員長 早田 真樹（福岡医健・スポーツ専門学校）

委員 田中恵子（ミッションウィル）

土井有美子（中国中央病院）

松岡智子（川崎医療福祉大学）

2021（令和3）年度の広報委員会は、4名で活動を行い、会報は年2回、11月と6月に発刊いたしました。第1報では、第12回全国大会の様子を中心に、第2報では、第13回全国大会のご案内、委員会活動報告等を掲載しております。

会員外の方へも広く広報できますよう、公開して差し支えない範囲で一部を抜粋し、ホームページ上で公開いたしました。会報へのご意見、ご感想等がございましたら、学会事務局までお知らせください。

## 学会員を募集しています

本学会では、医療秘書・医師事務作業補助者だけでなく、広く、医療機関の事務職、また、その教育者・研究者等が、様々な業務に対する実務対応・マネジメント・教育指導などについて議論することができます。ご参加をお待ちいたしております。

### 実務者の方々

- ✦ 医療機関で、医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務に従事している方、関心のある方
- ✦ 医療機関で、医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務の教育、指導をしている方
- ✦ 今後、医療秘書を目指そうとしている方
- ✦ 医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務の能力開発に関する情報を求めている方
- ✦ ホスピタリティや接客対応マナーの能力の向上に関する情報を求めている方

### 教育・研究者の方々

- ✦ 大学・短期大学・専修学校などにおいて医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務の教育・指導に携わっている方
- ✦ 医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務の能力開発、指導方法、ホスピタリティや接客対応マナーなどに関する教育・研究に関心のある方
- ✦ 医療秘書、医師事務作業補助者、あるいは医療事務に関する情報を求めている方

### 会員特典

- 本会が主催する全国大会などで研究や、実践の成果を発表できます。
- 本会が主催するワークショップや研修会に参加できます。
- 医療機関の方や、教育関係者、研究者の方との交流ができます。
- 機関誌『医療秘書実務論集』に論文や報告などを投稿できます。
- 『医療秘書実務論集』を無料送付します。
- 学会員の方は、メディカルオンライン上の学会誌を無料で閲覧できます。
- 『会報』を無料送付します。

### 会費

- (1)正会員 6,000 円
- (2)学生会員 3,000 円
- (3)賛助会員（団体）一口 10,000 円
- (4)法人会員 一口 20,000 円

## 事務局からのお知らせ

### 年会費納入のお願い

2022（令和4）年度、また以前からの年会費納入をお忘れになっていませんか。

学会関連のお知らせ等の発行や送付は、学会員の皆様が納めていただく年会費によりささえられておりますので、未納の方はすみやかに下記口座宛に振込みをお願いいたします。

また、年会費を2年間未納の方は、会則第8条2により自然退会となります。なお、自然退会となりましても、退会までの年会費のご入金をお願いいたしますので、ご注意ください。

#### 【年会費振込み先口座】

中国銀行 川崎学園出張所

口座番号 1294871

日本医療秘書実務学会（ニホンイリョウヒシヨジツムガツカイ）

### 学会への届出について

ご都合により退会をご希望の方は、退会手続きをお願いいたします。日本医療秘書実務学会のホームページ上部「入会手続き」内に「退会届」の書式がございますので、記入・捺印のうえスキャンしたデータを事務局宛にメールでお送りください。

### 編集後記

日本医療秘書実務学会『会報』第12号2報をお届けいたします。年度末に加え、新型コロナウイルスによる対応で慌ただしい中、原稿ご執筆にご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。コロナ禍が長引いておりますが、学会を現地開催でき、皆様にお目にかかれる日が来ることを心待ちにしております。

会報へのご意見、ご感想等がございましたら、学会事務局へお知らせください。どうぞよろしくをお願いいたします。

広報委員長 早田真樹（福岡医健・スポーツ専門学校）  
広報委員 田中恵子（ミッションウィル）  
土井有美子（中国中央病院）  
松岡智子（川崎医療福祉大学）